



(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

早期退職の強要はさせない

早期退職の実施発表

ルネサスエレクトロニクスは8月9日、連結従業員約1割に当たる5千数百人の早期希望退職を実施すると発表しました。9月18日から26日に募集し、応募者は10月末に退職するとしています。

今年度210億円の営業利益

ルネサスは8月2日、第一四半期の決算を発表し、2013年3月決算で営業損益210億円の黒

ルネサスの工場は？

報道された内容を簡潔な表現で掲載しました。

○は一部閉鎖するが中核、△は縮小だが存続

No	工場名	工程区分	印	計画内容
1	鶴岡	前工程	×	譲渡・集約
2	那珂	"	◎	中核事業所
3	高崎	"	△	5インチ集約
4	甲府	"	○	6インチ集約
5	滋賀	"	◎	中核事業所
6	山口	"	×	譲渡
7	西条	"	◎	中核事業所
8	高知	"	△	縮小で継続
9	熊本川尻	"	◎	中核事業所
10	函館	後工程	×	譲渡
11	青森	"	×	譲渡
12	米沢	"	◎	中核事業所
13	福井	"	×	譲渡
14	柳井	"	×	集約(閉鎖)
15	山口	"	×	譲渡
16	熊本錦	"	×	譲渡・集約
17	熊本大津	"	×	譲渡
18	大分	"	◎	中核事業所

字化、2014年度には二桁の営業利益率にするとし、3年以内に国内18カ所の生産工場のうち9カ所を閉鎖・売却する構造改革に取り組むとしています。

個人面談を実施へ

労働組合とは、8月6日に合意となり8月中旬から1ヶ月間の間に「個人面談」が実施され、9月18日から26日までの間に募集を受け付けるとしています。ルネサスは、早期退職への応募が計

退職強要は認めない

ルネサス労組は「早期退職優遇制度申し入れに対する見解」の中で、当社の事業存続のためには受け入れざるを得ないと判断し、早期退職の選択はあくまで本人の意思によるもので一切の強要はしないことを条件としています。

ルネサス懇は「全労連」などの支援と協力を得て、7月下旬より8月にかけて全国の拠点に「ルネサス懇全社ビル」7号を配布しています。WEBサイトに相談窓口の開設、リストラに対する考え方の掲載、掲示板による意見などを収集。退職強要等の相談を受け、電機・情報ユニオンとともに解決を図る等の取り組みを行います。

集積回路

*ルネサスが計画する大規模なリストラに関連し、大株主の日立と三菱電機が計500人超の従業員を引き受けることが明らかになった。ルネサスは9日、9月までに5千数百人の早期希望退職を募ると発表しており、大株主2社への移籍と合わせ秋までに削減は約6千人に達する。ルネサスは収益改善のため、現在4万2千人いる従業員を3年間で約1万2千人減らす方針。大株主の協力も得て、まず削減目標の半分をめどをつけた形だ。残る約6千人は、工場や事業の売却で減らす。関係者によると、日立は100〜200人、三菱は数百人を引き受ける。ルネサス設立前に自社にいた30代前後の社員を中心に、秋から順次転籍させる。一方、ルネサスの母体となった3社のうちNECだけは人員を受け入れない。自らも1万人規模のリストラを進めており、内部の理解を得られないと判断した。「朝日」8月10日電子版より

リストラ反撃のビラを門前で配布する

武蔵事業所で宣伝



ルネサス武蔵事業所へ宣伝行動は、7月18日(水)の退勤時に職場新聞「むさしNet」134号に「日立懇全社ビラ」196号と「ルネサス懇全社ビラ」7号をセットして配布しました。「むさしNet」では、企業で働いている人(労働者)は、物を生産する上で必要な資本の一部ですが、機械や原材料とは異なり生活があります。従って、企業の活動を縮小しなければならぬ時には「可能な限り雇用を継続する」との特別な配慮が求められることは当然であると強調しています。

この行動には、地元の日本共産党小平市議団や小平地区労役員など支援者が15名参加し、今までで最高の424枚を配布で

きました。(上写真) この宣伝行動には、電機懇や電機・情報ユニオンから6名が支援に駆け付けました。

高崎工場で宣伝

ルネサス高崎工場へ宣伝行動は、8月6日(月)の退勤時に「日立懇全社ビラ」196号と「ルネサス懇全社ビラ」7号をセットして288枚を配布できました。この行動は、地元の群馬県労会議の支援を得て実施し、真砂議長が弁士(左写真)として訴えて頂きました。さらに「沖電気の職場を明るくする会」(OAK)から多数支援して頂き、電機・情報ユニオン中央本部の森書記長も駆けつけ、総数11人で取り組みました。退勤者



の受け取りは良かったが以前と比較して退勤者数が少なかったと感想が寄せられました。

全労連大会で支援を訴える



全労連第26回定期大会は、7月29日〜31日の3日間、パシフィコ横浜会議センターで約400名の参加で開催されました。

谷口は、二日目に傍聴として出席させて頂き大会議案書を読んだら、この秋季年末闘争方針の項で重点となる8項目の方針の「3、解雇、失業に反対し、雇用の安定をめざす取り組み」における6課題の冒頭に(1)大企業などのリストラ・首切り合理化に反対する取り組みを打ち出しているルネサスに対する宣伝、自治体、関連企業への要請行動などを具体化する。方針

を掲げていました。二日目の討論でも、ルネサスなど電機大手で相次ぐリストラや工場閉鎖に対し、各地の代議員が労働者や下請け企業、地域経済を守る活動を報告していました。山口県労連の代議員は、民主団体と実行委員会をつくって闘うと発言していました。

株価情報について

私は、こうした積極的な方針を受けてお昼休みの1時間を利用して、北海道・青森・秋田・山形・群馬・山梨・福井・山口・愛媛・高知・熊本などの県労連の代議員席を訪問し議長・事務局長の皆さんとの名刺交換を行い、ルネサスのリストラ記事に掲載した職場新聞や関連資料をコピーした資料を手渡ししながら全国支援をお願いしました。



(C) Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd.

編集後記

5月にルネサスの3月期決算が発表され、銀行筋からの経営再建策のマスコミ報道が過熱状態に進み、8月2日の第四半期決算発表時に生産工場の譲渡・集約などが公表され、8月6日の労使合意で早期退職も実施される事になりました。今後、個人面談を通じて「退職強要」が行われる可能性があります。皆さんのご期待に添えて8月もWEB限定版を発行できました。WEBでの相談も受付ますので何でも寄せて下さい。(T)